



ラグビーワールドカップから東京オリンピック・パラリンピックへ

校長 清水 勝一

1ヶ月程前、ラグビーワールドカップ2019が大盛況のうちに閉幕しました。あまりの賑わいぶりのせいか、自嘲気味に「にわかファン」を名乗る方々もいたほどでした。私はテレビでの観戦でしたが、これほどラグビーに関心を寄せたのは、古い話で恐縮ですが、35年以上前に放映されたテレビドラマ「スクールウォーズ」以来です。そのドラマは、高校の弱小ラグビー部が、熱血先生の赴任をきっかけに数年間で全国制覇を果たすまでの軌跡（奇跡）が感動的に描かれていました。強豪チームに109対0の大敗をしながら平静を装う生徒に、主演の滝沢先生が「おまえら、それでもいいのか。」と迫ります。そして、生徒から「悔しいです！」の言葉を引き出し、そこから弱小チームの猛練習と快進撃が始まるのです。滝沢先生は、生徒に常にラグビーの素晴らしさや、目標に向かってみんなで協力すること”one for all. all for one.”を説き、今でも、そのことはよく覚えています。

今回のワールドカップを見ていて印象に残ったのは、“no side”という言葉と、その言葉のもつ精神性が、選手だけでなくサポーターにまで受け継がれていたことです。この言葉は、元々、試合が終わったことを審判が告げる言葉だったようですが、その後、試合中は勝つことを目指して全力で相手を倒そうとするが、試合が終われば敵も味方もなく、目の前にいるのはラグビーが大好きな仲間同士であり、互いの健闘を称え合うのが礼儀だ、と伝えられているようです。実際、参加国の様子を報道で見る限り、激しいプレーと対照的に紳士的で他国に友好的に見えました。

いよいよ来年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。現在、子供たちは、オリンピック・パラリンピックについて調べたり、世界友達プロジェクトで担当の国（本校は、ドイツ、ノルウェー、ジャマイカ、モロッコ、モルディブの5か国）のことを調べたり、給食でその国の料理を味わったりし、その気運を高めています。そして、全学年がパラリンピックの競技を参観することが予定されています。この“no side”の考え方が東京オリンピック・パラリンピックにも受け継がれ、子供たちがその精神性と国際性にふれ、自分の考えを広げたり深めたりすることを願っています。



12月行事予定



生活目標「ものを大切にしよう」

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日		16	月	全校朝会 縦割り班遊び SC
2	月	振替休業日	17	火	特別時程5時間 個人面談③
3	火	安全指導 A	18	水	読み聞かせ 海洋教育5年 学力フォローアップ教室3,4年
4	水	午前授業 学力フォローアップ教室3,4年	19	木	児童集会 北区学校保健大会(6年代表) ランチルーム給食2-1 クラブ活動 SC
5	木	体育朝会 委員会活動 A SC ランチルーム給食3-1	20	金	学力フォローアップ教室5,6年 避難訓練予備日
6	金	特別時程5時間 個人面談① SC 学力フォローアップ教室5,6年	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	全校朝会 縦割り班遊び打合せ SC
9	月	全校朝会 社会科見学3年 SC	24	火	
10	火	研究授業2-2 特別時程午前授業 A SC	25	水	全校朝会 給食終
11	水	学力フォローアップ教室3,4年	26	木	冬季休業日始 ~1月7日まで
12	木	体育朝会 音楽雅楽教室6年 特別時程5時間 個人面談②	27	金	学校閉庁日
13	金	避難訓練 ランチルーム給食3-2 学力フォローアップ教室5,6年	28	土	
14	土	土曜授業 道徳授業地区公開講座	29	日	
15	日		30	月	
			31	火	

SC: スクールカウンセラー

A: 外国語講師

★★★岩井自然体験教室の思い出★★★

5年担任 菅野 澄夫

10月29日(火)～11月1日(金)の4日間は、5年生にとって貴重な体験となりました。初日は雨が降り、予定していた飯ごう炊さんは実施できませんでしたが、グループでカレーの下ごしらえをして、おいしいカレーを作ることができました。また、いきいき体験共和国では、アイスクリーム作りを体験しました。それらの体験を通して、子供たちは「自分たちで作ったから美味しく感じました!」「帰ってから家でも作ってみました!」と、自分で何かを作る喜びを感じることができたようです。砂山すべりでは、「最初はこわかったけど、慣れてきたら楽しかったです!」「疲れたけど、何回も夢中でやりました!」と感想をもちました。マザー牧場では、広い場内で多くの動物と触れ合いました。学園で一緒に過ごした西が丘小学校とは、キャンドルファイヤーを通して交流を深め、レクでは大盛り上がりでした。

この3泊4日は、集団での生活に大切なことを多く学ぶ機会となりました。うまくいったこともそうでないことも全て含めて、自分の成長に活かしてほしいと担任一同願っています。

★★★全校遠足を終えて★★★

11月6日(水)に全校遠足が行われました。1～3年生は上野動物園へ、4～6年生はアンデルセン公園へ行きました。各学年の児童の感想を紹介します。

わたしは、どうぶつえんで、いろいろなどうぶつを見ました。おひるごはんのまえにずっと見ていたどうぶつは、さるです。さるがけんかをしたり、おにごっこをしたり、ごはんをもらってたべたり、水をのんだりしていました。さいごにバスにのって、ほんのちょっとだけねました。きもちよかったです。1年2組 田島 みのあ

たてわりはんのみんなで、どうぶつえんを回りました。さいしょ、サルやしっぽは長いと思っていましたが、本もののサルを見てみじかいということを知りました。お弁当はすごくおいしかったです。お母さんに「ありがとう」という気持ちです。またみんなと上野どうぶつえんに行きたいです。2年1組 古賀 美咲希

私は、遠足で上野動物園に行きました。お弁当を食べているときに新しい友だちができてうれしかったです。その子のすきな動物を聞いたり、あまった時間でいっしょに遊んだり楽しかったです。また、たてわりはんで遠足に行きたいです。3年2組 紫尾田 美羽

ぼくが、遠足で楽しかったことは森のアスレチックに行ったことです。ダイナミックコースを選びました。高さがあって少しこわかったです。でも、降りるときに友達が「がんばれ!」と応援してくれました。うれしかったです。バスの中でもたくさん話ができ、楽しかったです。4年2組 松田 脩希

アンデルセン公園ではアスレチックも楽しかったですが、友達とドングリを集めたのが一番楽しかったです。いろいろな大きさのドングリを見つけ、持ち帰るのが大変なくらいの量になりました。お弁当を食べ終わった後は、トカゲを見つけました。楽しい一日でした。5年1組 雑賀 麗

今年行った船橋アンデルセン公園は、すべり台やポート、いろいろなアスレチックがあり、とても楽しかったです。私が特に楽しかったのがターザンロープです。ひもと距離が短かったけれど楽しかったです。また機会があれば行きたいです。6年2組 上原 七海

★考える過程を大切に★

研究担当 田中 百恵

本年度は、「児童一人一人が分かり、共に学ぶ喜びを味わう指導の工夫～算数科を通して～」を研究主題として、以下のような児童の育成に取り組んでいます。

- ・習った事をもとに考え、課題を解決できる児童
- ・自分の考えの根拠を示し、筋道を立てた説明ができる児童
- ・自分の考えと関連付けながら友達の考えを聞き、新たな方法に気付いたり、考えを深めたりすることができる児童

先月行われた研究授業では、自分で考える過程を大切にしたい授業が実践されていました。これまで学んできた知識や技能を活用し、自分なりの解き方を図や式、表などでノートに書き表したり、友達と自分の考えとを比較したりして、よりよい方法を話し合いながら授業が進みました。

一年の折り返しとなり、学校は学習の充実期を迎えています。日々の授業では、教師がどう教えるかではなく、子供がどう学んでいくかを考え、友達との交流を通じた深い学びを目指していきます。そして、日常生活の様々な場面で、算数で学んだことを生かしていけることを期待しています。